

ニューユニークス

暮らしを提案する買取再販を展開
高級家具ブランドの照明を採用

▲東京・三軒茶屋にある築19年のマンションの1室をリノベーションした再販物件の販売を開始した

リノベーション会社のニューユニークス(東京都渋谷区)は、主力事業のリノベーションブランド「nuリノベーション」に加え、買取再販事業に注力している。今年1月には、東京・三軒茶屋にある築19年のマンションの1室をリノベ

ションした再販物件の販売を開始した。

同物件は、専有面積約90平米のメソネットタイプだ。間取りは3LDKで、上階に子ども部屋、個室、寝室、キッチン・ダイニングを配置し、下階にリビングを設けた。同物件の特徴は主に3つある。1つ目は「フロアリビングのある暮らし」をコンセプトにした空間構成だ。上下階を行き来する動線によって、生活が自然につながる空間構成としている。デザイン



買取再販事業部責任者
佐々木洋尚氏

ナーの原布慈子氏は「リビングとキッチン・ダイニングを分けることで、リビングの使い方に幅が生まれます。シアタールームやワークスペースなど、多様な使い方が考えられます」と語る。

2つ目は上質なペーシユトーンでまとめた内装だ。落ち着きのあるライトベージュを基調とし、ダイニングの壁にはペーシユのソイルペイントを採用。天然素材ならではの表情が、空間全体の印象を柔らかくしている。3つ目はインテリアのスタイリング。例えば、階段の吹き抜けには、アメリカの高級家具ブランド「Herman

Miller(ハーマンミラー)の照明シリーズ「Neilson Bubble Lamps(ネルソンバブルランプ)」を採用した。時代を超えて評価される名作家具を取り入れることで、住まいの質を高めている。

ターゲットは、デザイン感度の高い士業やパワーカップルなどの富裕層。リノベーション費用は約2000万円、販売価格は約1億6900万円。

同物件を取得した理由について、同社は同エリアの交通利便性の高さに加え、商店街の雰囲気とモダンさが共存し

ている点を挙げる。

同社では今後も、リノベーションによって付加価値を高められる物件を厳選し、買取再販事業に取り組んでいく方針だ。買取再販事業部責任者・佐々木洋尚氏は「自社の設計力・デザイン力を強みに、購入者のペルソナを丁寧に設定したうえで、物件ごとのコンセプトを構築しています。暮らし方や価値観に寄り添った住まいづくりを行い、「選ばれる理由のある再販物件」を目指します」と語る。

同社の設立年は2014年。住宅・非住宅のリノベーション事業や買取再販事業などを手掛ける。